

法と心理学分科会（第 24 期・第 5 回）議事録

日時: 令和元年 9 月 11 日(水)18 時 00 分-20 時 00 分

場所: 立命館大学 OIC B 棟 4 階研究室 2 (大阪府茨木市岩倉町 2-150)

出席者: 松宮孝明, 遠藤光男, 行場次朗, 土井政和, 仲真紀子,
箱田裕司, 松本克美, 河原純一郎 (8 名)

議題:

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 話題提供ならびに質疑
 - ・公認心理師試験問題について
 - ・「大崎事件最高裁再審棄却決定」について
- (3) 今後の活動について
- (4) その他

議事内容

- (1) 前回議事録を確認した。
- (2) 話題提供ならびに質疑
 - ・公認心理師試験問題について
問題について分析し, 出題の性質について議論した。
 - ・「大崎事件最高裁再審棄却決定」について
松宮委員の資料に基づいて心理学鑑定という位置づけについて議論した。
- (3) 今後の活動について
公認心理師試験問題について引き続き議論することとした。
次回は令和 2 年 3 月 10 日(火)を第 1 候補 1400-1630, 3 月 23 日(月)を第 2 候補とし, 中島委員に被害者支援について話題提供をお願いすることとした。場所は学術会議の予定。
- (4) その他
法と心理学会での公認心理師試験問題の扱いについて, および各学会の公大協への参加について確認することとした。

以上